

資料提供
広報取材依頼

情報提供日	令和6年11月21日
問い合わせ先	大田市健康福祉部医療政策課 (担当：森山)
	Tel.0854-83-8058 (内線 1198)

緩和ケアを考える集いの開催

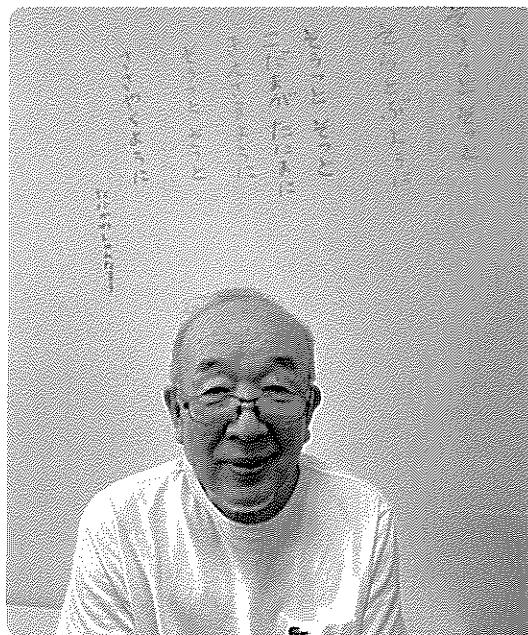
1. 行 事 名	緩和ケアを考える集い
2. 目 的	地域の皆様とともに緩和ケアについて考え、理解を深める機会とする
3. 開 催 日	令和6年(2024年)12月1日(日)
4. 開催時間	13時00分～15時00分
5. 開催場所	島根県立男女共同参画センターあすてらす (大田市大田町大田イ 236-4)
6. 主 催	緩和ケアネットワーク大田
7. 後 援	
8. 参加・入場者数	どなたでも参加できます
9. 行事の内容	
13:10～ 講演 「どこまで家で過ごせるか」 講師 野の花診療所 院長 徳永進先生 14:20～ スライド上映 「写真で振り返る緩和ケアネットワーク大田のあゆみ」 ※詳しくは添付のチラシをご確認ください	
10. その他	○緩和ケア…がんなどの重い病気と診断された時から、患者さんやそのご家族のからだやこころの苦痛をやわらげ、その人らしい生活を送れるようにするためのケア ○緩和ケアネットワーク大田…大田地域でのきめ細やかな緩和ケア提供体制の構築と医療・保健・福祉サービスの一体的な提供を目的として、かかりつけ医、歯科医、薬剤師、訪問看護ステーション、社会福祉協議会、地域包括支援センター、大田市立病院、県央保健所、大田市役所などの有志会員で構成される団体

緩和ケアを 考える集い

入場無料
申込不要

12.1 (日)
13:00-15:00
(受付 12:30~)

会場／島根県立男女共同参画センター
あすてらすホール (大田市大田町大田イ236-4)
主催／緩和ケアネットワーク大田



プログラム

○講演 13:10~

「どこまで家で過ごせるか」

○スライド上映 14:20~

「写真で振り返る

緩和ケアネットワーク大田の歩み」

緩和ケアネットワーク大田は、前身の「在宅緩和ケアネットワーク会議」を母体として、平成17年4月1日に自主組織としてスタートしました。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員ほか、保健・医療・福祉関係者等が、地域に出かけひざを突き合わせて座談会を行うとともに、年1回の研修会を続けてきました。その歩みをご覧ください。

講師 徳永進先生 (野の花診療所 院長)

【講師プロフィール】

1948年、鳥取県に生まれる。京都大学医学部を卒業。京都、大阪の病院・診療所を経て、鳥取赤十字病院の内科医に。

2001年12月、鳥取市内にてホスピスケアのある有床診療所「野の花診療所」を始める。今年で22年目となる。1982年『死の中の笑(え)み』(ゆみる出版)で、第4回講談社ノンフィクション賞を受賞。

1992年、第1回若月賞(独自の信念で地域医療をしている人に贈られる)を受賞。

【著書】

『死の中の笑(え)み』(ゆみる出版)、『増補 隔離』『こんなときどうする?』『どちらであっても』『いのちの現場でとまどう』(以上、岩波書店)、『話しことばの看護論』(看護の科学社)、『詩と死をむすぶもの』(谷川俊太郎氏共著)『いのちのそばで』(以上、朝日新聞出版)、『ケアの宛先』(鷺田清一氏共著・雲母書房)、『在宅ホスピスノート』(講談社)、『生活臨床と緩和ケア』(青海社)、『死ぬのは、こわい?』(増補新版・新曜社)など多数。